

CADPACCREATOR 2D Ver.15.0

CADPAC-CREATOR 2D Ver.15.0 新機能リスト

■汎用機能

1. iPad 送信	2
2. バインダー	2
3. 最近開いたファイル	3
4. 図面属性一括変更	3
5. 出図	3
6. DXF・DWG 入出力	3
7. DXF・DWG 入力	4
8. Jw_cad 入力	4
9. IMGPrinter (TIFF・PDF 出力ドライバ)	4
10. MCAD 出力	5
11. バルーン	5
12. シンボル分解	5
13. 距離、面積	5

■機械オプション

1. ナット、座金	6
2. 穴変換 (旧タップ変換)	6

■土木オプション

1. 補助記号	6
---------------	---

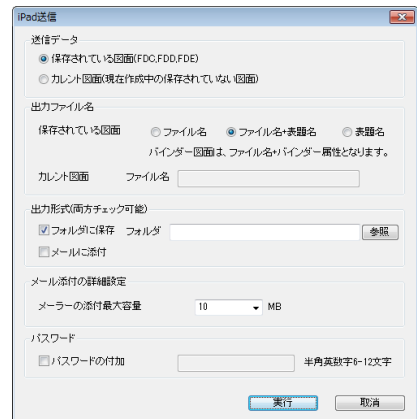
Ver.15.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.15.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.14.5 からの差分です)
[****/****] は、該当のオンラインヘルプとなります。

汎用機能

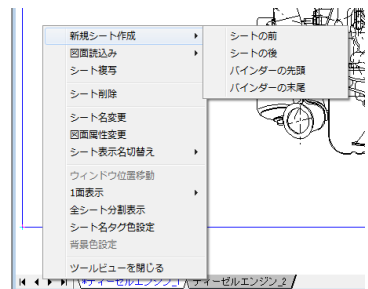
1. iPad 送信

「iPad 送信」は、CADPAC-CREATOR 2D で作図した図面を、iPad で閲覧できる形式のファイルに変換する新機能です。
変換されたファイルは、任意のフォルダに保存することや、お使いのメールソフトにファイルを添付しメールを作成することが可能です。
変換する際にファイルにパスワードを付加することができます。
パスワードが付加されたファイルは、iPad で開く際に指定のパスワードを入力することで開きます。
iPad の閲覧アプリケーション名は、「CADPAC View」といい、App Store (apple.com) から無償でダウンロードできます。
CADPAC View の詳細は以下の URL を参照してください。
<http://www.dcrea.co.jp/product/cadpacview/>
[ファイル / iPad 送信]



2. バインダー

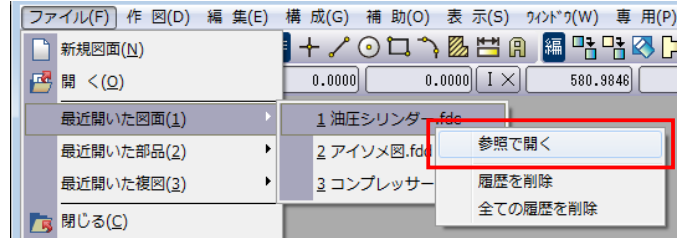
ポップアップメニュー「新規シート作成」、「図面読込み」からシートをバインダーに追加する際、位置を指定できるようになりました。
[基本操作 1/ バインダーについて]



3. 最近開いたファイル

履歴リストからのポップアップメニューに「参照で開く」が追加されました。選択すると、その図面は参照モードとして開かれます。また [Shift] キーを押しながら履歴上の図面を選択すると、同様に参照モードとして開かれます。

[ファイル / 最近開いたファイル]



4. 図面属性一括変更

カタログ出力により作成したリストを元に、複数図面の図面属性を一括で変更できる新コマンドです。

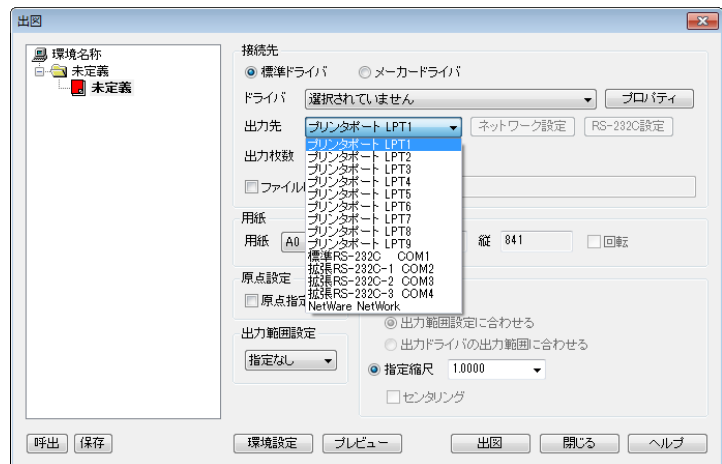
※複数のファイルに対して一括で上書きするという仕様上、操作を誤ると復旧が困難な場合があるため、オンラインヘルプにて操作をよくご確認ください。

[ファイル / 図面属性一括変更]

5. 出図

標準ドライバの出力先を LPT9 まで拡張しました。

[ファイル / 出図]



6. DXF・DWG 入出力

AutoCAD2013 形式に対応しました。

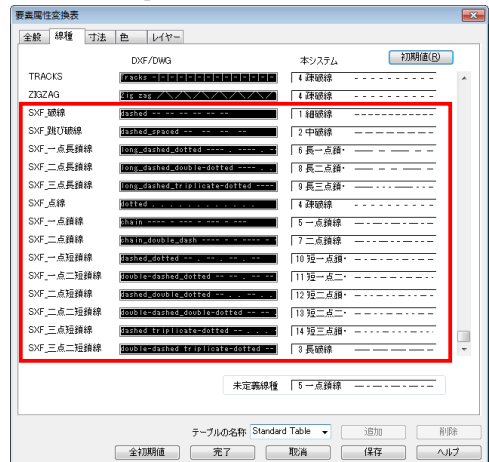
[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部出力 /DXF・DWG 出力]

7. DXF・DWG 入力

「ヘッダー読み込み後に再設定する」をオンにし、読み込み後再設定した際、その線種設定が保存されるようになりました。
 また、変換時の割り当て線種について、新たに 14 の線種を定義できるようになりました。

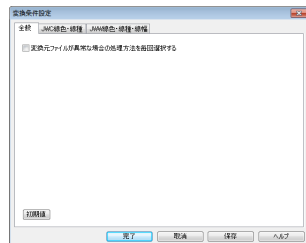
[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]



8. Jw-cad 入力

変換条件設定ダイアログを一新しました。

[ファイル / 外部入力 /Jw_cad 入力]



全般



JWC 線色・線種



JWW 線色・線種・線幅

9. IMGPrinter

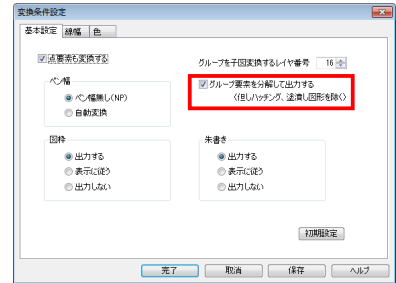
TIFF・PDF 出力ドライバ

ファイルの種類「PDF File 画像にして出力 (*.pdf)」を追加しました。
 通常の PDF 出力と違い、ラスターデータに変換し出力するため、CAD データとして二次利用されるのを防ぐことが可能です。

[ファイル / IMGPrinter - PDF・TIFF・XCDF 出力]

10. MCAD 出力

図面上のグループ要素を分解して出力できるようになりました。
但しハッチング、塗り潰し図形は対象外となります。
[ファイル / 外部出力 / MCAD 出力]



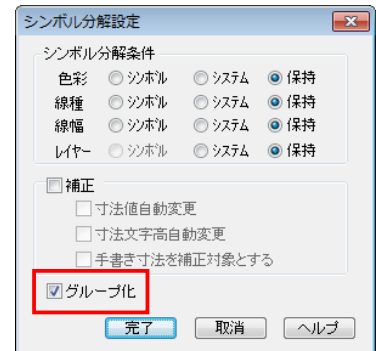
11. パルーン

CSB に [8. 文字参照] が追加されました。
作図画面上的の要素をマウス左クリックで指定することにより、[0. 番号] に文字列を取り込むことができます。
参照できる要素は「文字」、「機械部品の属性」、「グループ名」です。
[作図 / 文字記入 / パルーン]



12. シンボル分解

分解した要素をグループ化できるようになりました。
[構成 / シンボル / シンボル分解]

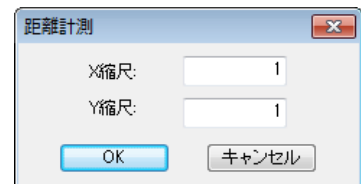


13. 距離、面積

本コマンドにて設定されたX軸とY軸の倍率をもとに、測定された値に対して変倍を行い表示することができます。

[補助 / 計測 / 距離]

[補助 / 計測 / 面積]

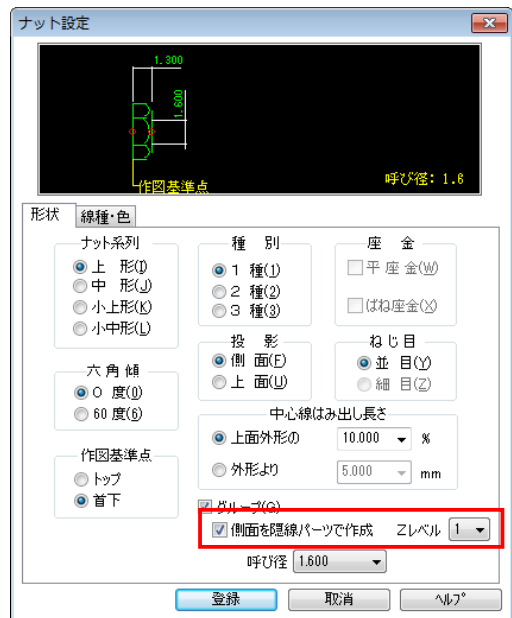


機械オプション

1. ナット、座金

側面図を作図したとき、その要素を隠線処理できるようになりました。

- [オプション / 機械 / 機械定型1 / ナット]
- [オプション / 機械 / 機械定型2 / 平座金]
- [オプション / 機械 / 機械定型2 / 角座金]
- [オプション / 機械 / 機械定型2 / ばね座金]
- [オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / 六角ナット]
- [オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / 平座金]
- [オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / ばね座金]



2. 穴変換 (旧タップ変換)

タップ変換コマンドの対象要素にドリル穴とざぐりが追加され、「穴変換」コマンドに名称を改めました。

- [オプション / 機械 / 機械定型3 / 穴変換]



土木オプション

1. 補助記号

[5. 角度切替]、[円弧] - [円弧] の指定時で切り替えができるようになりました。

- [土木基本 / 共通 / 補助記号]